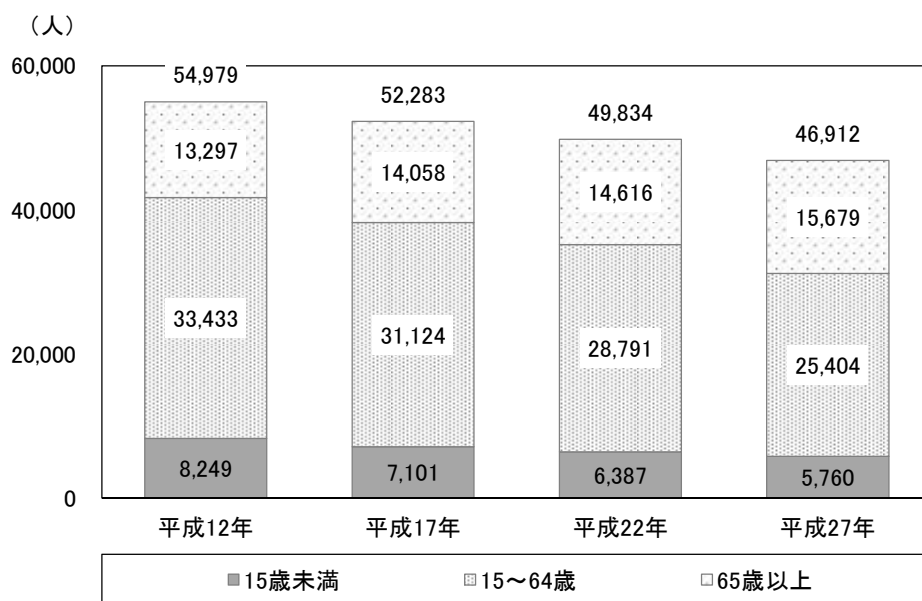


# 統計からみる南あわじ市の現状

## (1)人口・人口動態

本市の総人口は平成 27 年現在、46,912 人（国勢調査）で年々減少しています。年齢3区分別では、65 歳以上人口割合が上昇しており、15 歳未満人口割合、15～64 歳人口割合はともに低下しています。

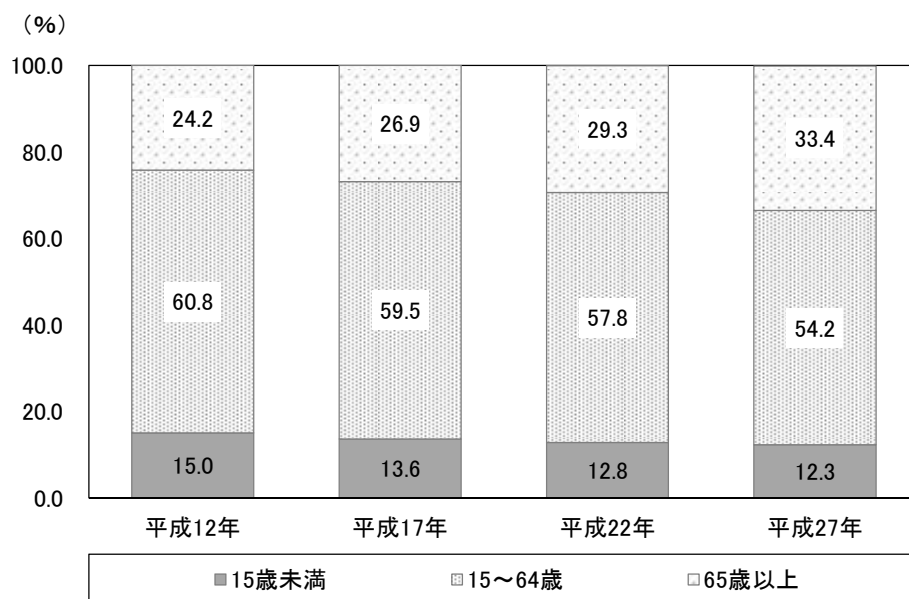
### ■年齢3区分別人口の推移



資料：総務省「国勢調査」

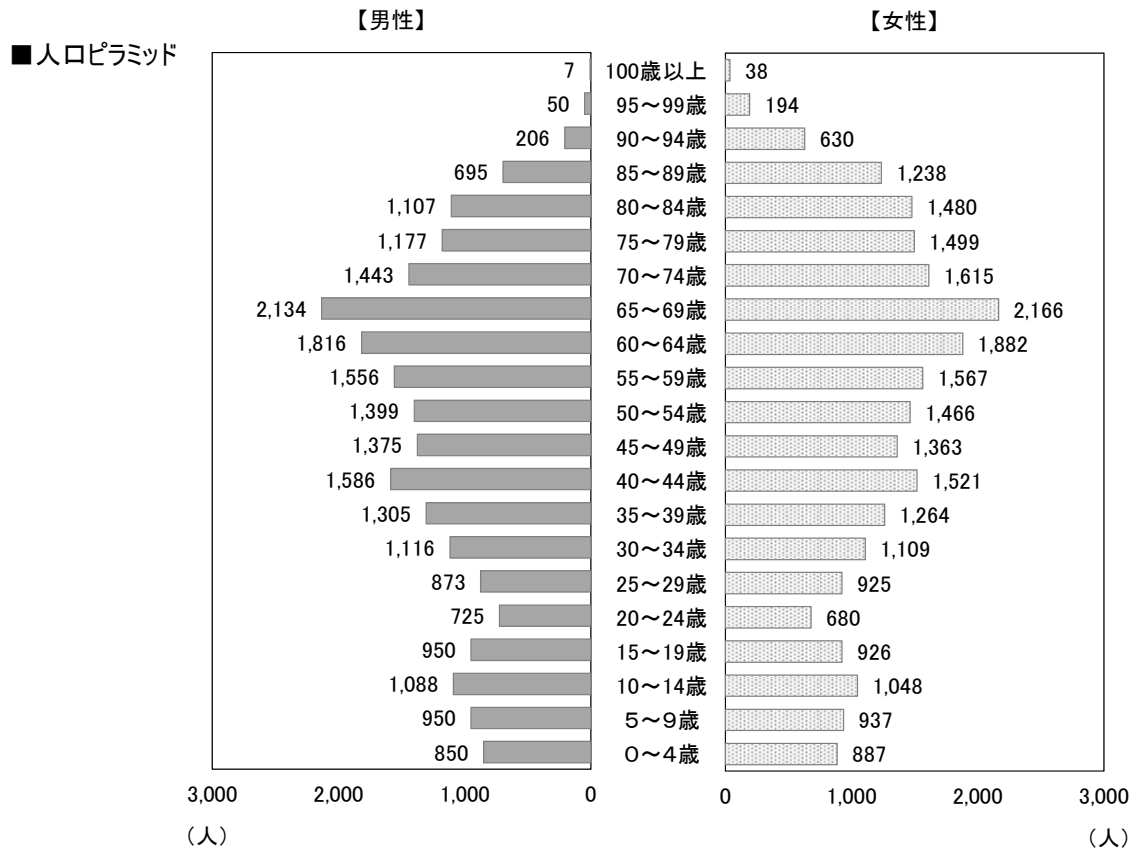
\*年齢不詳を含むため、合計が合わない場合があります

### ■年齢3区分別人口割合の推移



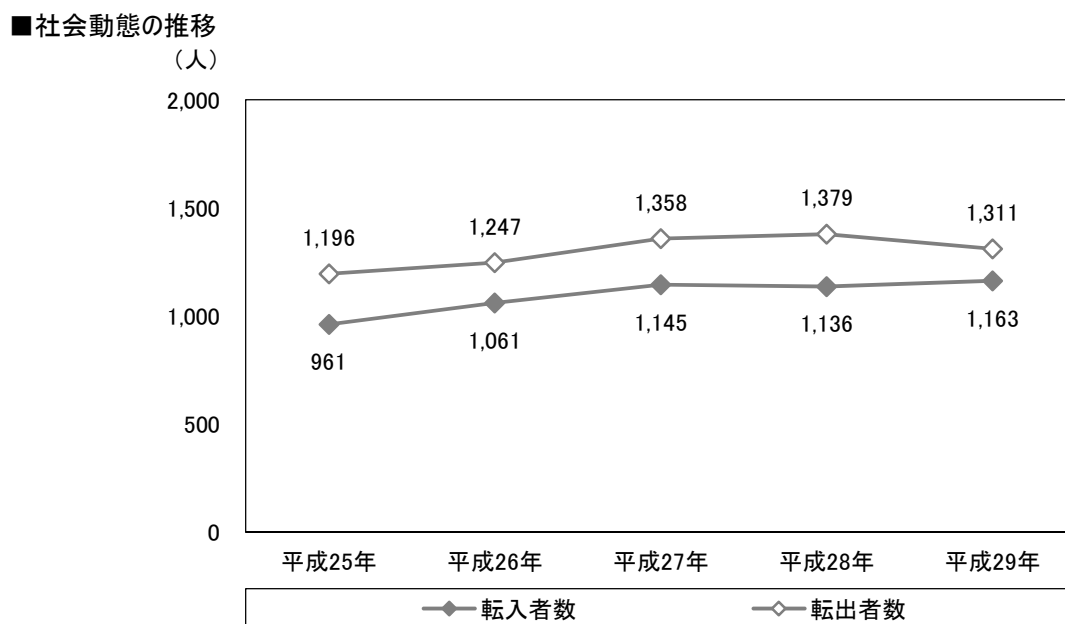
資料：総務省「国勢調査」

人口ピラミッドをみると、40歳代前半と60歳代の人口が多く、20歳代の人口が少ない傾向がみられます。また、85歳以上では男性より女性が顕著に多くなっています。



資料：総務省「国勢調査」(平成27年)

社会動態の推移をみると、転出者数が転入者数を上回る社会減の状況で推移しています。



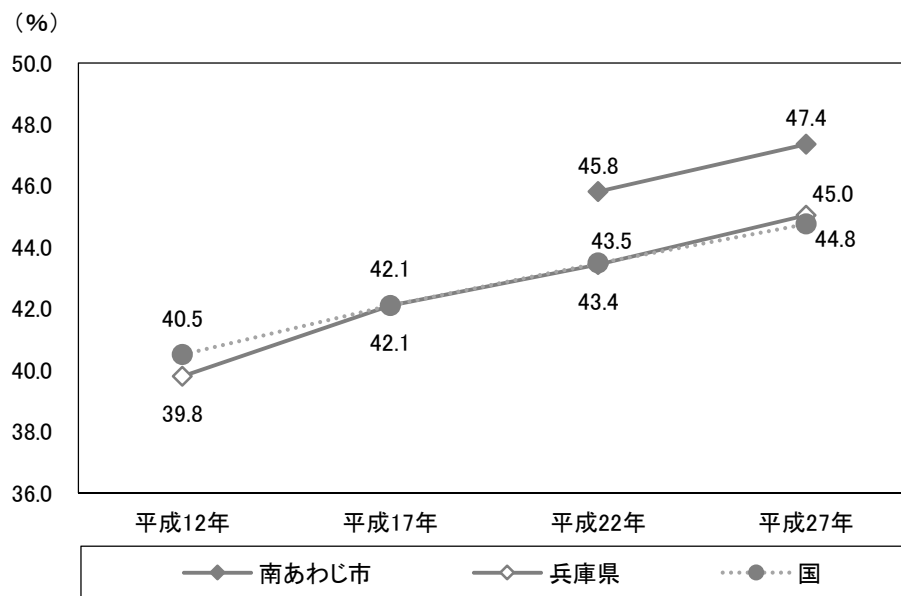
資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

## (2) 雇用・就労状況

雇用者※に占める女性の割合について、本市では平成 27 年には 47.4%となっており、兵庫県、全国を上回って推移しています。

就業率を年齢別にみると、男性では 20 歳代後半から 50 歳代後半まで 9割前後で推移しているのに対し、女性では 20 歳代後半から 30 歳代後半まで、7割代で推移しています。一方で、M字カーブの谷は浅く推移しており、兵庫県・国と比較すると、20 歳以上のすべての年代において、高い就業率となっています。

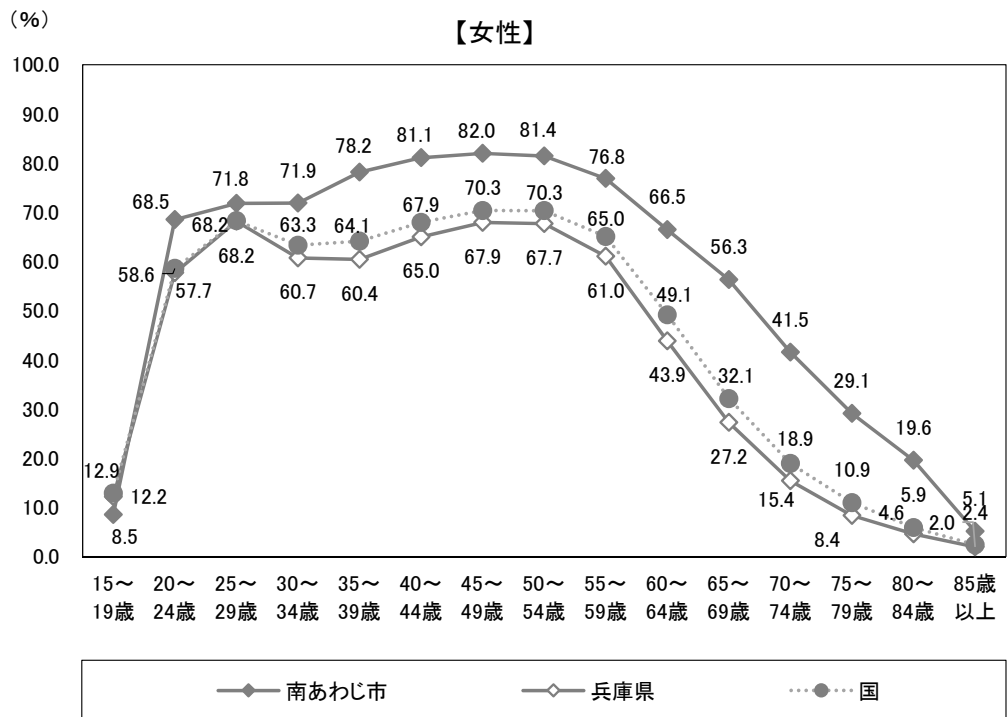
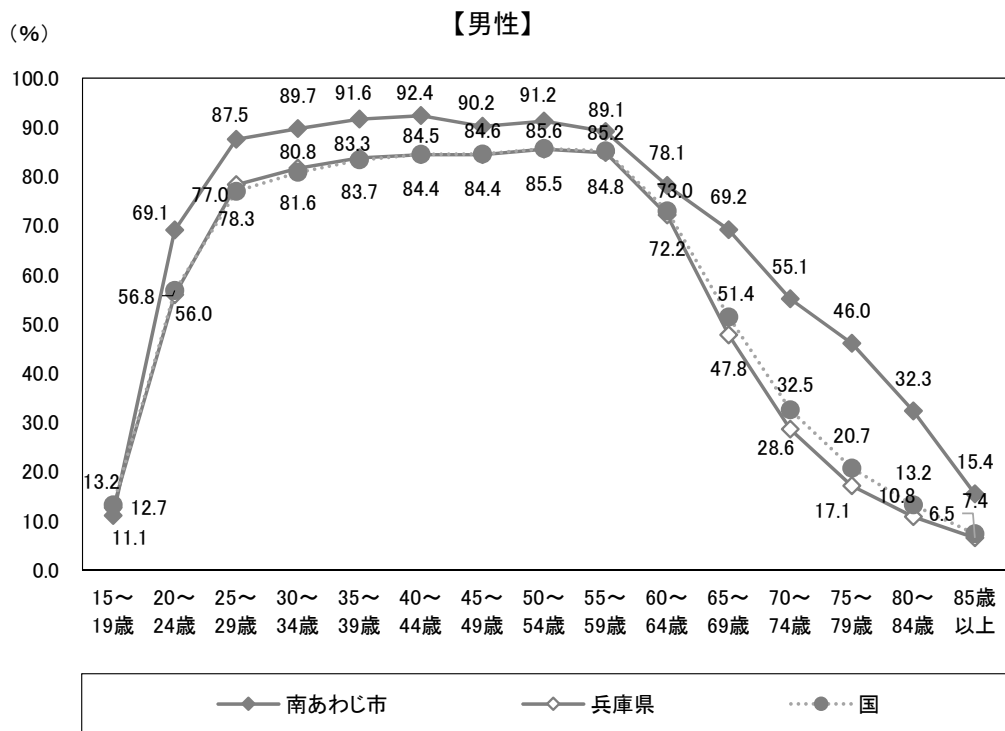
### ■女性雇用者割合の推移



資料：総務省「国勢調査」  
南あわじ市は合併後の平成 22 年以降のみ

※雇用者とは、会社員・公務員・団体職員・個人商店の従業員・住み込みの家事手伝い・日々雇用されている人・臨時雇い等、会社・団体・個人や官公庁に雇用されている人（ここでは役員を含んでいる）

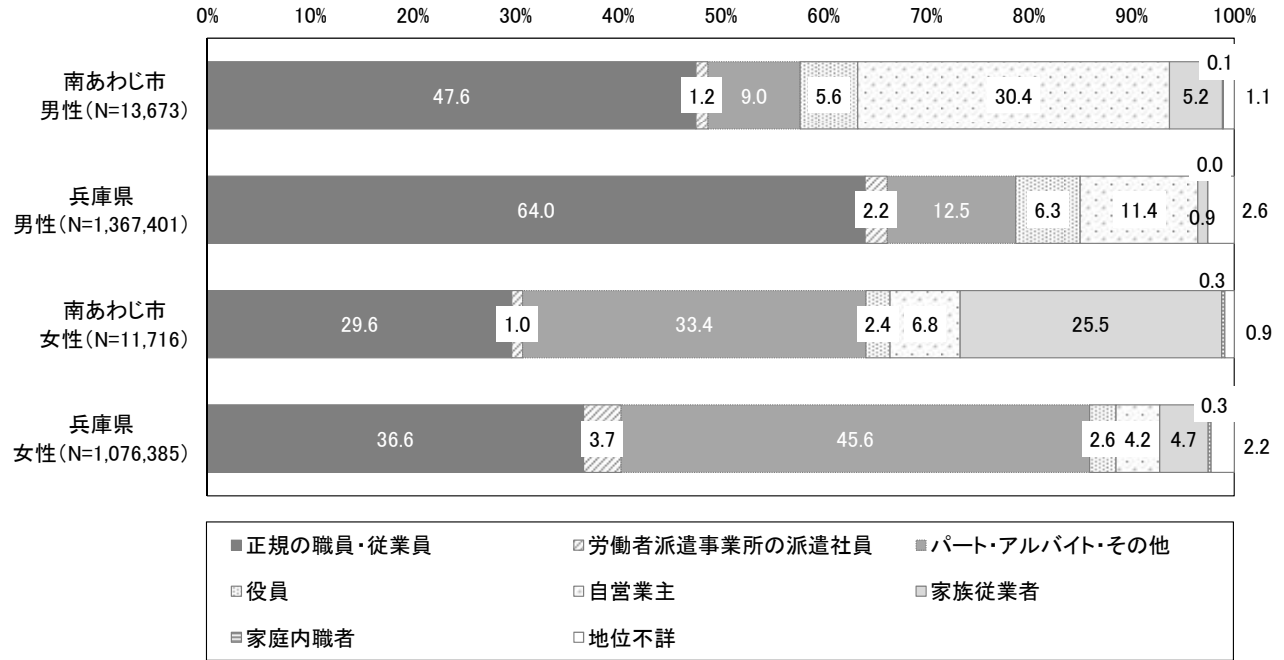
■ 就業率の状況



資料：総務省「国勢調査」(平成27年)

本市の雇用者における従業上の地位の状況をみると、女性は男性より正規職員の割合が低く、パート・アルバイト等の非正規の割合が高くなっています。一方で、兵庫県と比較すると、男性では自営業主、女性では自営業主、家族従事者の割合が顕著に高くなっていることがわかります。

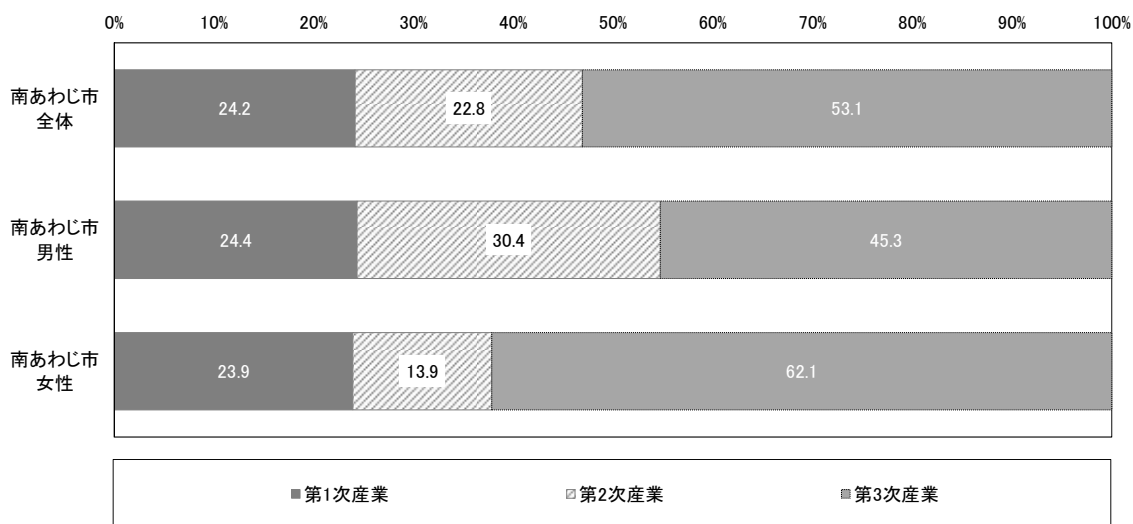
■従業上の地位の状況



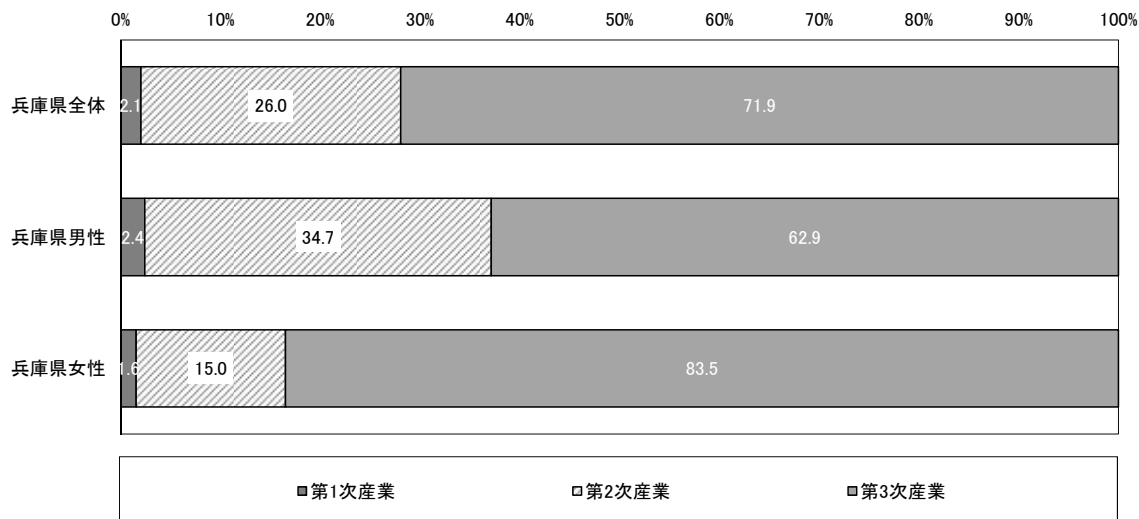
資料：総務省「国勢調査」(平成27年)

本市の産業別就業割合をみると、第1・2次産業が約5割、第3次産業が約5割となっています。男性では第2次産業、女性では第3次産業の割合が高い傾向がみられます。県と比較すると、男女ともに第1次産業従事者割合が約10倍となっており、農業従事者が多いことが本市の大きな特徴であることがわかります。

■産業別就業者割合



<参考>



資料：総務省「国勢調査」(平成27年)